

<国・市町実施>

- ・ 活動レポートの内容自体は見やすく、わかりやすいものだが、県が予算を使うには検討する必要があると思う。ここで紹介された団体に参加したくても、地域的なこともあって参加できるものが限られてしまうことを考えると、県ではなく市町レベルで広げていけば良いのではないか。

<県実施(抜本見直し)>

- ・ 冊子作製はもったいないが、情報提供、発信は必要。webで対応して経費節減を。
- ・ 発行しても見ている方がいない。効果がない。
- ・ 活動している人、イベントの紹介等のニーズはある。「ささえる」につながるかの効果は現状では不明確。参考書等にするなら訴求力を高めるようにすべき。
- ・ レポート第3号の内容14の活動内容を見ると、このような例は他にもまだまだたくさんあると思う。
- ・ 同種のPR冊子があるのではないか？
- ・ 内容が支える人たちと活動している人たちとなっていて、もう少し精査した方がいい。
- ・ 冊子を配布したとしても一般の人にわかってもらわないと配布する意味がない。
- ・ 時間がなく、内容を判断することはできません。

<県実施(一部見直し)>

- ・ その土地に根付いた文化を紹介・支援することは、県民の文化向上に良いと思う。また、そのこととアートマネージャーの養成とは別の事業としてやるべき。
- ・ レポート発行後の成果について効果の検証(来場者等)を実施すべき(レポートには成果があるものもないものがある)

<県実施(現行・拡充)>

- ・ このレポート担当の方が一番力が入っていた。
- ・ 費用対効果はなじまないのか。
- ・ このようなレポートがあっても良いし、作るのは県であってもよい。